

1. 愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション研究紀要 木村定三コレクション研究報告書 全索引

◆ 1993年度(平成5年度)

紀要1号

- ・浅野 徹：創刊のことば
- ・栗田 秀法：＜所蔵作品研究＞グスタフ・クリムト作《人生は戦いなり》一様式が含意するものをめぐってー
- ・寺門臨太郎：日本におけるクレール受容の端緒
- ・長屋菜津子：愛知県美術館の保存対策 その1

◆ 1994年度(平成6年度)

紀要2号

- ・深山 孝彰：館蔵資料研究 戸張孤雁の版木について
- ・栗田 秀法：＜研究ノート＞ブッサン作《キリストの洗礼》をめぐって
- ・拝戸 雅彦：アルベルティ『絵画論』研究状況ーアルベルティのもう一つの世界

◆ 1995年度(平成7年度)

紀要3号

- ・村上 博哉：マックス・エルンスト《ポーランドの騎士》
- ・長谷川三郎：オーギュスト・ロダン《歩く人》
- ・古田 浩俊：「フィアホトカ」の謎ー香月泰男の《渚くナホトカ》に記されたロシア文字ー

◆ 1996年度(平成8年度)：発刊なし

◆ 1997年度(平成9年度)

紀要4号

- ・高橋 秀治：寄託作品研究 アンドリュー・ワイエス《酒密輸入》
- ・長屋菜津子：愛知県美術館の保存対策 その2 所蔵作品のコンディション・レポート

◆ 1998年度(平成10年度)

紀要5号

- ・寺門臨太郎：パウル・クレール《蛾の踊り》
- ・鯨井 秀伸：インデックスについて

◆ 1999年度(平成11年度)

紀要6号

編集者：鯨井秀伸

- ・長屋菜津子：愛知県美術館の虫菌害対策 愛知県美術館の保存対策その1 改訂版
- ・鯨井 秀伸：エドワードジョン・ポインター《世界の若かりし頃》

◆ 2000年度(平成12年度)

紀要7号

編集者：古田浩俊・鯨井秀伸

- ・古田 浩俊：ヴァシリー・カンディンスキーの木版画
《夕暮れ》
- ・栗田 秀法：原典資料紹介 王立絵画彫刻アカデミーの1648年の会規集

◆ 2001年度(平成13年度)

紀要8号

編集者：古田浩俊・鯨井秀伸

- ・鯨井 秀伸：梅原龍三郎《横臥裸婦》と西洋の視点伝統
- ・古田 浩俊：ロシア未来派詩集 アレクセイ・クルチョーヌィフ『爆』第二版
- ・栗田 秀法：研究ノート＝聖書挿し絵本とブッサン ー初期の作品をめぐるー

◆ 2002年度(平成14年度)

紀要9号

編集者：鯨井秀伸・古田浩俊

- ・古田 浩俊：フランティシュク・クプカ《灰色と黄金の展開》(1)
- ・鯨井 秀伸：イタリア素描の主題研究

◆ 2003年度(平成15年度)

紀要10号

編集者：鯨井秀伸

- ・鯨井 秀伸：イタリア素描の主題研究

◆ 2004年度(平成16年度)

紀要11号

編集者：鯨井秀伸

- ・鯨井 秀伸：アンビエンテ覚書

◆ 2005年度(平成17年度)

紀要12号

編集者：(年報合本) 高橋秀治

- ・鯨井 秀伸：『蛾の踊り』イメージラリー試論
- ・深山 孝彰：視覚障害者の美術鑑賞ガイド実践例からー絵画鑑賞における立体コピーの使用方法について
- ・村田 眞宏：杉本健吉の寄贈作品の概要

◆ 2006年度(平成18年度)

紀要13号

編集者：(年報合本) 拝戸雅彦・松山ひとみ

- ・ 拝戸 雅彦：光としてそのまま掬い取ることー絵画の発明者ナルキッソスとアルベルティーの『絵画論』
- ・ 高橋 秀治：愛知県美術館における教育普及活動について学校との連携を中心にしてー活動報告とその考え方

木村定三コレクション報告書1

編集者：村田真宏・長屋菜津子

- ・ 市川 政憲：木村定三コレクションが愛知県美術館に残したもの
- ・ 村田・泉・岩永・竹上・馬淵・吉安・長屋：
公開シンポジウム記録「作品をまもり伝える美術館-ある仏画（木村定三コレクション）の修復をめぐる」
- ・ 村田 真宏・古田 浩俊：受け入れ作業と登録業務
- ・ 池田 素子：目録作成について（アートドキュメンテーションの見地から）
木村定三コレクションの目録作成の流れと諸作業について
- ・ 鯨井 秀伸：目録作成について（アートドキュメンテーションの見地から）
資料知識のカタロギング方法論
- ・ 長屋菜津子・池田素子・志水明子：保存処置について

◆ 2007年度(平成19年度)

紀要14号

- ・ 長屋菜津子・湯田 文：愛知県美術館受贈の杉本健吉『新・平家物語』画稿について
- ・ 藤島美菜：美術鑑賞の方法 ギャラリートークを中心にして

木村定三コレクション報告書2

編集者：高橋秀治・長屋菜津子

- ・ 牧野研一郎：序にかえて
- ・ 古田 浩俊：木村定三コレクション研究Ⅰー「鵬」をめぐる
- ・ 牧野研一郎編：木村定三氏略歴
- ・ 古田・鯨井・池田編：木村定三氏著作目録
- ・ 池田素子編：茶会記録
- ・ アートライブラリー編：蔵書目録
- ・ 長屋菜津子編：蔵書分析

◆ 2008年度(平成20年度)

紀要15号

編集者：大島徹也

- ・ 副田 一穂：〈夢の絵画〉から「絵画の殺害」へージョアン・ミロとシュルレアリスム
- ・ 大島 徹也：ポロックとデ・クーニングーそのライバル関係と相互影響

木村定三コレクション研究紀要

編集者：鯨井秀伸

- ・守安 収：浦上玉堂所用印章による作品編年へのアプローチ
- ・荒川 正明：黒織部茶碗に関する一試論 ―木村定三コレクションを中心に―
- ・石田 恵子・鯨井 秀伸：円筒印章・スタンプ印章類目録
- ・鯨井 秀伸：円筒印章印影のイメージアリー

◆ 2009年度(平成21年度)

紀要16号

編集者：大島徹也

- ・森 美樹：アンリ・マティスによる、パレエ「赤と黒」のための舞台装飾について
- ・大島 徹也：リー・クラズナー——1953―55年のコラージュ

木村定三コレクション研究紀要

編集者：鯨井秀伸

- ・上蘭 四郎：柏舟社の活動 ―木村定三コレクションにふれて
- ・飯尾由貴子：岸田劉生の日本画について
- ・鯨井 秀伸：日本近現代版画目録

◆ 2010年度(平成22年度)

紀要17号

編集者：大島徹也

- ・高橋 秀治：寄贈作品研究 アンドリュー・ワイエス
《水塊Ⅰ》
- ・大島 徹也：ジャクソン・ポロック——オールオーバーのボード絵画の成立過程

木村定三コレクション研究紀要

編集者：鯨井秀伸

- ・齋藤 龍一：随時代の道教像に関する一考察
- ・柏木 知子：木村定三コレクションにおける富岡鉄斎作品の特質
- ・柏木 知子・鯨井 秀伸：富岡鉄斎・太田垣蓮月作品目録

◆ 2011年度(平成23年度)

紀要18号

編集者：塩津青夏

- ・浅野 徹：《斎藤与里氏像》と岸田劉生の1913年
- ・塩津 青夏：バーネット・ニューマン―形成期の作品に関して

木村定三コレクション研究紀要

編集者：鯨井秀伸

- ・(鯨井秀伸)：はじめに
- ・岩本 崇：木村定三コレクション大阪府牧方市万年寺山古墳出土三角縁神獣

鏡

- ・久保 智康・森下 章司：木村定三コレクション銅鏡目録

木村定三コレクション報告書3

編集者：長屋菜津子・中村麻里

- ・村田 眞宏：はじめに
- ・長屋菜津子：《M1027》が《高麗鉄地金銀象嵌鏡架》にいたるまで
- ・久保 智康：高麗時代鉄地金銀象嵌鏡架について
- ・川本 耕三：象嵌部分の微細剥落片断層画像、マッピング画像
- ・鳥越 俊行：構造体の解明を目的としたCTスキャナー画像
- ・川本 耕三：定性分析結果
- ・大澤正巳・鈴木瑞穂：鉄地の金属学的調査
- ・中村 俊夫：放射性炭素年代測定法の結果
- ・井上美和子：付着繊維状物質調査
- ・中村 麻里：コンピューターグラフィックを利用した画像処理と文様の書起こしについて
- ・雨森 久晃：保存処置報告書